



Variable Attenuator

小電力可変アッテネータ

本器は導波管内に取り付けた抵抗体を移動することにより、抵抗体に通過電力の一部を吸収させ、通過するマイクロ波電力に減衰を与えるものです。

種類としては方形導波管内に電解に平行に置かれた抵抗体を移動させて減衰を与えるベイン形と、方形導波管の長辺の中央に管軸に沿った細隙を設けこの中に抵抗板を入れるフラップ形またはギロチン形と、 H_{11} モードの円形導波管内に抵抗体を固定し、管軸を中心として回転させて減衰を与える回転形可変抵抗減衰器があります。

また、大電力用可変減衰器は、ハイブリッド結合器とデュアルタイプの短絡器を動かすことにより、出力端への電力の可変を行います。



【精密級】

形式	周波数範囲 (GHz)	挿入損失 (dB)	VSWR	許容電力 (W)	使用導波管	導波管長 (mm)
WAT-021	1.9～2.35	0.2	1.1	3	WRJ-2	600
WAT-021H	2.35～2.6				WRJ-2	600
WAT-031	2.7～3.4		2	WRJ-3	500	
WAT-041	3.6～4.3			WRJ-4	350	
WAT-051	5.0～5.6			WRJ-5	300	
WAT-061	5.8～6.5	WRJ-6		250		
WAT-071	6.4～7.2	WRJ-7		250		
WAT-071H	7.2～7.8	WRJ-7		250		
WAT-091	8.8～9.6	1		WRJ-9	175	
WAT-101	8.8～9.6			WRJ-10	150	
WAT-101H	10.5～11.7		WRJ-10	150		
WAT-121	12.0～13.5	0.3	1.05	0.5	WRJ-120	150
WAT-151	12.4～15.0				WRJ-140	125

共通規格

最大減衰量: 30dB以上

減衰量校正曲線一部添付



日本高周波株式会社